



アルファテック380の実力

塗布するだけでひび割れ補修!

AT380

アルファテック380

AT380は、毛細管現象によって0.5mm以下のひび割れに浸透する、アルファ工業の技術が生んだ新しいコンクリート補修接着剤。

一般のご家庭でも手軽にコンクリートのひび割れを補修できます。

※天井面のひび割れにも毛細管現象によって浸透していきます。(右図)



- 今まで補修できなかった微細なひび割れにも深く浸透し内部から接着補修できます。
- 乾燥面だけでなく湿った状態のコンクリートでも補修が可能です。
- 硬化後は半永久的に高い耐久性を発揮します。
- 有機溶剤を含みません。
- 揮発物を含まないため、硬化収縮がほとんどありません。
- 日本水道協会規格「JWWAK143」相当製品です。

※ハケ、ローラーで塗るだけで、接着剤自体が毛細管現象によって、ひび割れに浸透するので簡単に補修できます。

塗布による補修が可能なひび割れの深さ

補修面	深さ
上面(天井など)	3cm程度
側面(壁など)	5cm程度
下面(床など)	30cm程度

※当社研究所で実験したデータであり、保証値ではありません。

塗布によるAT380のひび割れへの浸透の深さを検証しました。

ひびの入ったコンクリート試験体の右側面からAT380を繰り返し塗布しています。

硬化する前に試験体を割ると、接着剤がひび割れ全体にまんべんなく浸透していることが確認できます。



製品仕様

未硬化物の性状(23℃)

試験項目		主剤(A剤)	硬化剤(B剤)
主成分		変成エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン
混合比	(重量)	100	43
	(容量)	2	1

試験項目	試験方法	主剤	硬化剤	混合液
比重	JS K 6833	1.15±0.05	100±0.05	1.11±0.05
粘度(mPa·s)	JS K 6833	800±100	200±50	400±100
可使時間	温度上昇法	70分		
外観(色)		淡黄色(1割ま無色)	青色	淡青色

作業手順

STEP
01

主剤と硬化剤を2:1の容量比で混ぜます。

オリーブオイルのようなとろみです。



STEP
02

ハケかローラーで、
ひび割れに沿ってAT380を塗布します。

毛細管現象によって接着剤自体がひび割れの内部に入り込んでいきます。
塗布した表面にひび割れに沿って窪みができたら再度、接着剤を塗布して下さい。
この作業を数分間繰り返すことで接着剤がより深くひび割れの内部へと浸透していきます。



STEP
03

塗布から24時間が経過すると、接着部分は硬化し、
コンクリート以上の強度になります。

※必要があればサンダーなどで磨いて仕上げてください。



ご使用量の目安

■30g~50gで約1mのひび割れを補修できます。

※使用量は、ひび割れの幅や深さによって異なりますのでご了承下さい。

パッケージについて

AT380 (1kg)セット

【セット内容】	AT380(1kgセット)、デスポカップ(300cc、100cc)、 ビニール手袋×1双、ハケ×1本、取扱説明書
-	-



硬化物の性状

試験項目	試験方法	養生条件	単位	物性値
圧縮強度	JIS K 7208	20°C × 7日	N/mm ²	15
		20°C × 14日		25
		20°C × 28日		30
曲げ強度	JIS K 7203	20°C × 7日	N/mm ²	11
		20°C × 14日		20
		20°C × 28日		25
引張強度	JIS K 7113	(乾燥)20°C × 7日	N/mm ²	11
		20°C × 14日		15
		20°C × 28日		20
圧縮剪断強度 (セメントモルタル相互)	JIS K 6852	(乾燥)20°C × 7日	N/mm ²	10MF
		(湿潤)20°C × 7日		8MF
引張剪断接着強度(鋼材相互)	JIS K 6850	20°C × 7日	N/mm ²	15COF
付着強度	JHS 412	20°C × 7日	N/mm ²	2.0CF
ひび割れ接着強度	JHS 426	20°C × 7日	N/mm ²	2.5CF

註) MF:セメントモルタル破壊 COF:接着剤破壊

※本記載の物性は当社研究所で採取した代表試験結果であり 保証値ではありません。

品質規格との比較

ひび割れ注入工法用エポキシ樹脂系ひび割れ注入材の品質規格との比較

試験項目		単位	JH規格値(1種)	AT380物性値
未硬化の注入材	粘度	mPa·s	1000以下	400
	可使用時間	分	30以下	70
	収縮率	%	3以下	1.4
未硬化の注入材	モルタル 付着強さ	乾燥面	6以上	6.3MF
		湿潤面	3以上	5.0MF
	付着力耐久性保持率	%	60以上	76MF

註) MF:セメントモルタル破壊